

総評

保健環境センターは、県民の安全・安心な生活を維持するために、様々な視点から、健康と環境に係る課題に取り組んでいる。今年度は、事前評価2件、中間評価2件および事後評価4件の報告があったが、いずれも、本センターの研究力が大きく向上していることがうかがえる内容であった。

事前評価は、いずれも、新規性があるチャレンジングな課題であり、困難な点もあると思われるが、専門家の意見を聞きながら、果敢に進めていただきたい。中間評価2件は、人の健康に大きな影響を及ぼす感染症を扱ったものであり、順調に成果が得られており、今後の進捗が期待される。事後評価については、コロナ禍での研究の中断を余儀なくされた課題を含め、いずれも、予想を超える成果が得られており、今後、成果の県民への発信はもとより、学会誌等での公表も目指してほしい。

池本 良子